

岐阜県池田町版人口ビジョン

令和2年3月

岐阜県池田町

目次

1. 人口減少時代	1
(1) 池田町人口の展望	
(2) 人口構成	
2. 自然増減、社会増減について	2
(1) 自然増減について	
(2) 社会増減について	
3. 人口変動要因の分析1 自然増減について	4
4. 人口変動要因の分析1 社会増減について	5
5. 池田町の今後	6

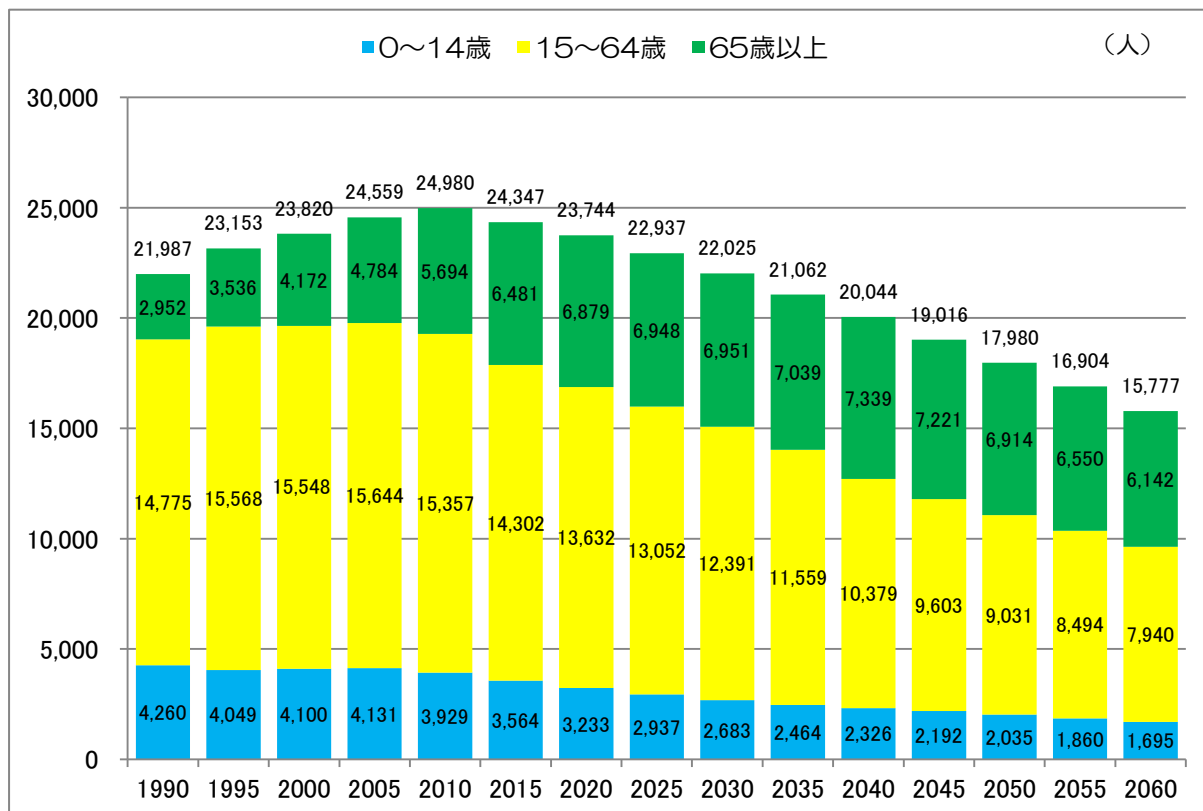
1. 人口減少時代

(1) 池田町人口の展望

池田町の人口は、平成 22 年（2010 年）をピークに減少傾向に転じ、令和 22 年（2040 年）には 20,044 人、令和 42 年（2060 年）に 15,777 人まで減少し、やがて、町の機能が低下し、活力も失われていく事が予想されます。

老年人口（65 歳以上）は今後も増加が続く一方、年少人口（14 歳以下）、生産年齢人口（15～64 歳）は減少に歯止めがかからず、令和 42 年（2060 年）には、平成 22 年（2010 年）と比較して、年少人口、生産年齢人口がともに約半減することが予想されます。

グラフ1 池田町の総人口、年齢3区分別人口

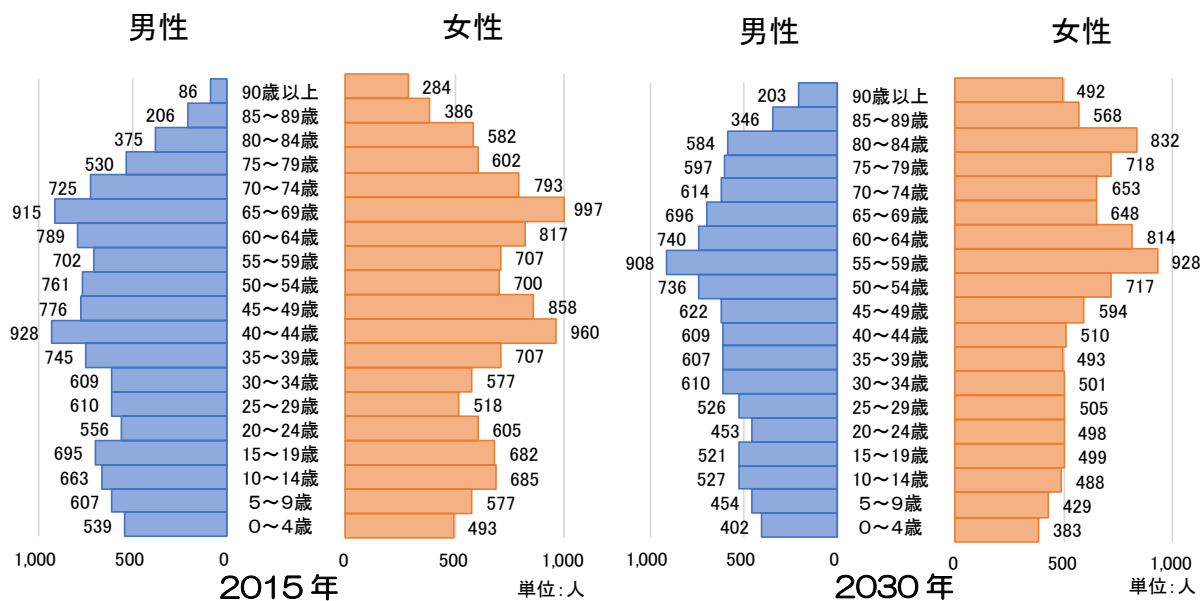


2015 年までは、総務省「国勢調査」。以降は国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）「日本の地域別将来推計人口」による推計。

(2) 人口構成

続いて池田町の人口ピラミッドです。2015 年はつぼ型になっていますが、2030 年には老年人口が最も多く、若くなるにつれて人口が少なくなる逆富士山型になることが予想されます。

グラフ2 池田町人口ピラミッド



2015年は総務省「国勢調査」、2030年は社人研「日本の地域別将来推計人口」を基に推計

2. 自然増減、社会増減について

なぜ人口減少が進むのかを考えるためには人口動態要因を分析する必要があります。人口変動の原因は、主に①自然増減（出生・死亡）、②社会増減（転入・転出）の2つがあります。

(1) 自然増減について

過去25年間の池田町の自然増減をみてみると、出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向にあることがわかります。特に出生数の減少が大きいです。

グラフ3 池田町の出生・死亡数

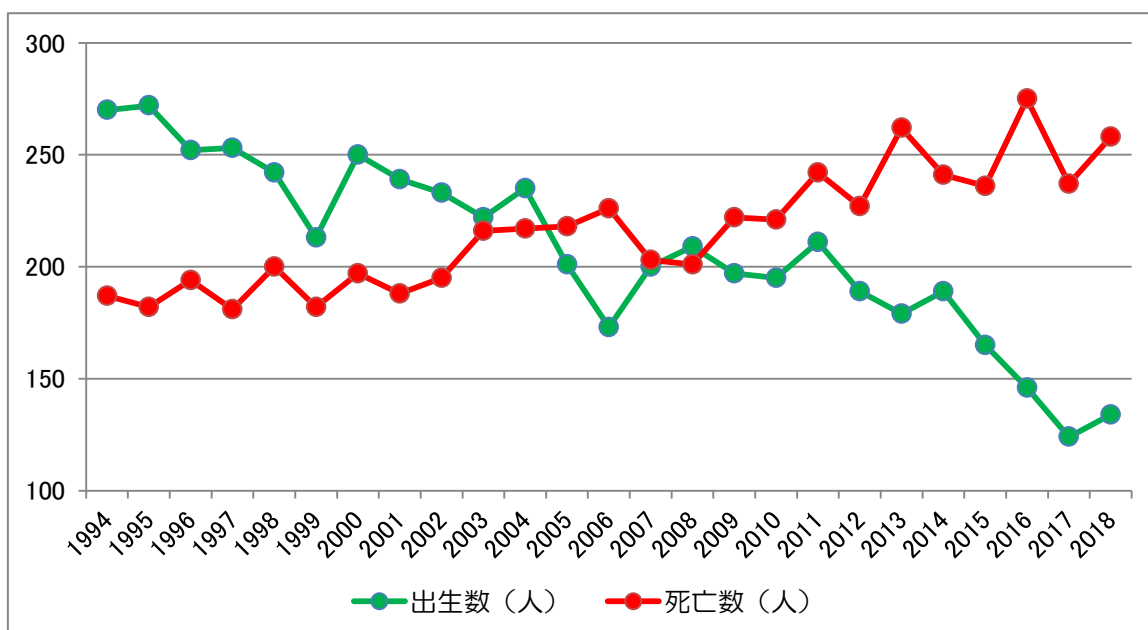


表1 過去11年の出生・死亡数

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
出生数(人)	209	197	195	211	189	179	189	165	146	124	134
死亡数(人)	201	222	221	242	227	262	241	236	275	237	258
自然増減	8	-25	-26	-31	-38	-83	-52	-71	-129	-113	-124

1995~2018年総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

出生数に関しては2008年と2018年を比較すると約36%減少しており、逆に死亡数は28%増加しています。また、2008年は出生数が死亡数を上回る結果でしたが、2009年以降死亡数が出生数を上回り、自然減の状態が続いています。2016年以降は自然減が3桁に突入し、人口減少が加速しています。

(2) 社会増減について

過去25年間の池田町の社会増減をみると、年によって差はありますが、2010年以降は転出が転入を上回る年が多くなり社会減の傾向にあると言えます。

グラフ4 池田町の転入・転出数

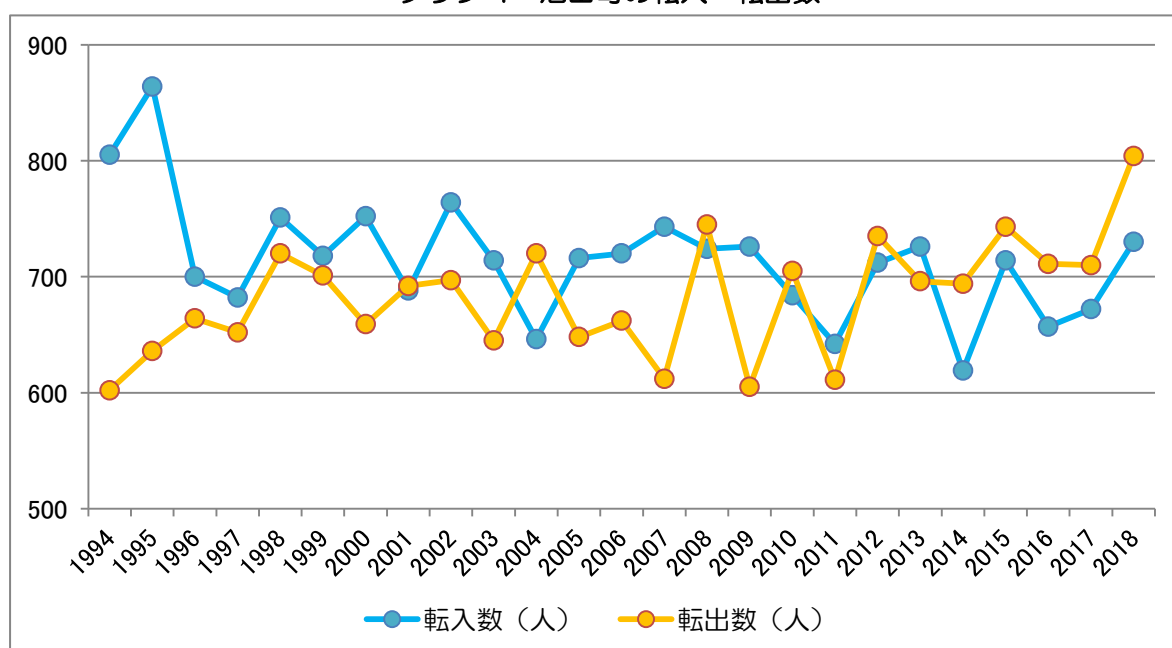


表2 過去11年の転入数・転出数

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
転入数(人)	724	726	684	642	712	726	619	714	657	672	730
転出数(人)	745	605	705	611	735	696	694	743	711	710	804
社会増減	-21	121	-21	31	-23	30	-75	-29	-54	-38	-74

1995~2018年総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

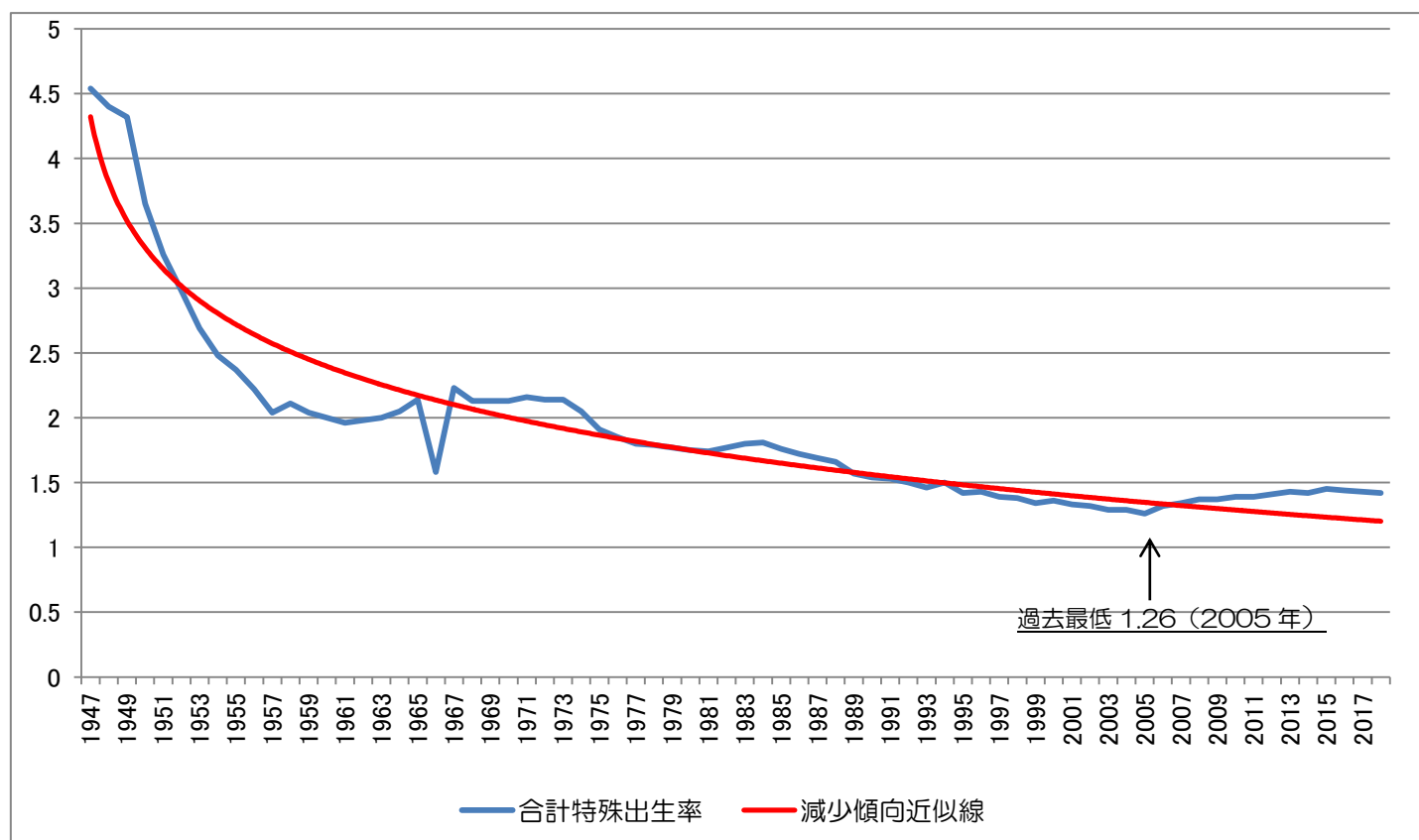
自然動態、社会動態を総合的に見ると人口減少の要因として大きいのは自然増減に原因があることが分かります。これは晩婚化により子どもを産む女性の年齢が高くなり、一人の女性が一生に生む子どもの数である合計特殊出生率が低下していることが原因の1つであると考えられます。次に自然増減と社会増減について、それぞれ分析をします。

3. 人口変動要因の分析 1 自然増減について

自然減の原因は出生数の減少と死亡数の増加です。池田町の死亡に関しては全国平均よりも低い傾向にあるので、出生数について考えます。出生数が減少する理由は出生率（子どもを産まない、産む人数が少ない）が低いことが考えられます。

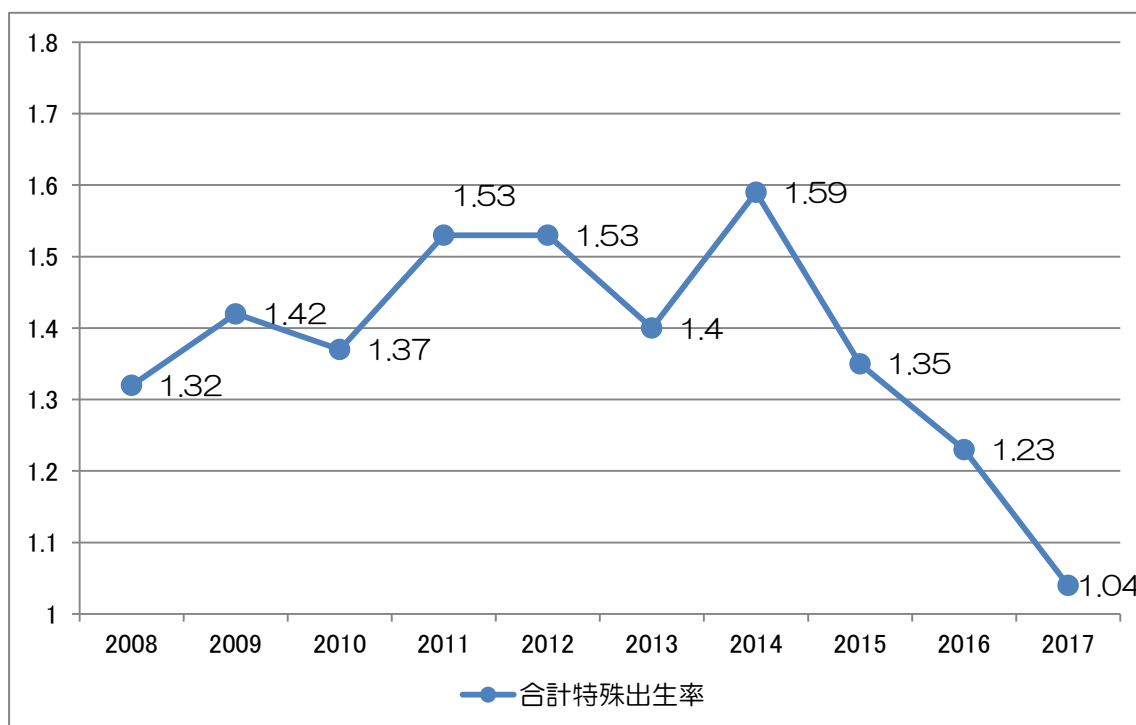
2008年から2012年の池田町の合計特殊出生率は1.53であり全国平均の1.38、県平均の1.49を上回っていました。しかし、2013年から2017年の池田町の合計特殊出生率は1.32となっており、県平均・全国平均を下回る結果となっています。全国の合計特殊出生率は2005年に過去最低の1.26を記録して以降、緩やかな増加傾向にある中、池田町は減少傾向にあります。

グラフ5 全国の合計特殊出生率（1947～2015年）



厚労省「人口動態総覧の年次推移」より

グラフ6 池田町の合計特殊出生率の推移



2008年～2017年 「西濃地域の公衆衛生」より

次に、過去10年間の池田町の合計特殊出生率の推移を見てみると、2008年から2014年は上昇傾向になりましたが、2014年の1.59をピークとして2015年以降は減少にあります。

4. 人口変動要因の分析2 社会増減について

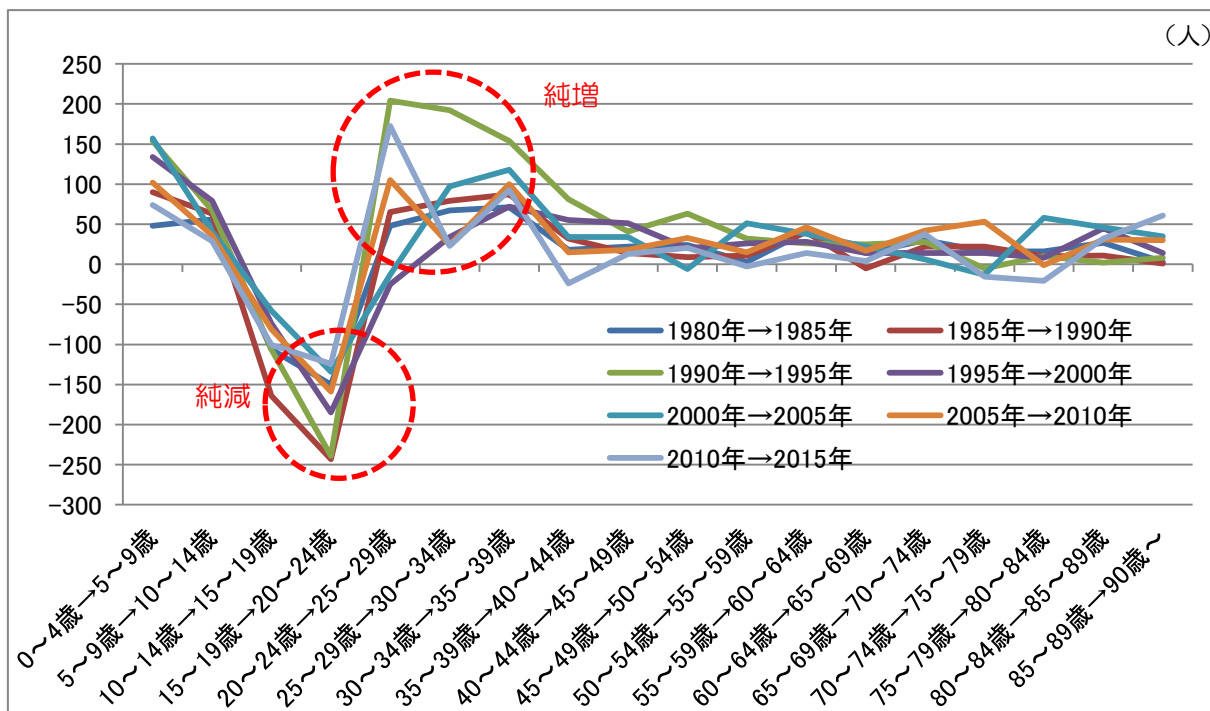
社会増減の内訳を年齢別に考察します。

過去35年間の年齢別の社会増減を見ると、10代で大きく減少していることが分かります。これは進学に伴って町外へ出る人が多いからです。一方20代、30代では増加します。これは就職、結婚、出産等に伴って池田町に戻る、転入する為と予想できます。20代、30代の増加数には各年でばらつきが見られるので、ここを安定してより多く池田町に戻れるように考える必要があります。

表3 池田町の10～49歳各年社会増減 (人)

	10～14歳 →15～19歳	15～19歳 →20～24歳	20～24歳 →25～29歳	25～29歳 →30～34歳	30～34歳 →35～39歳	35～39歳 →40～44歳	合計
1980年→1985年	-106	-150	48	67	71	18	-52
1985年→1990年	-164	-243	65	79	87	32	-144
1990年→1995年	-106	-239	204	192	154	81	286
1995年→2000年	-74	-185	-25	34	72	55	-123
2000年→2005年	-58	-134	-13	97	118	34	44
2005年→2010年	-81	-159	105	24	100	15	4
2010年→2015年	-101	-124	172	23	92	-24	39

グラフ 7 池田町の年齢別の社会増減数（1980～2015年）



5. 池田町の今後

- i 池田町の人口は 2010 年をピークに減少傾向へ。
- ii 2060 年には 16,000 人を下回る。
- iii 池田町の人口減少の要因は社会増減よりも自然増減の影響が大きい。
- iv 合計特殊出生率は全国平均よりも低く、減少傾向にある。
- v 10 代での大学進学での転出が多く、20 代、30 代の結婚、就職等のタイミングでの転入（戻り）が多い。

第 1 期総合戦略計画期間の 5 年間で本町の人口は依然減少を続けており、平成 27 年に策定した人口ビジョンの推計値から見て、現在の人口（2015 年国勢調査結果）は推計を既に下回るペースで推移しています。第 2 期総合戦略の施策を実効性のあるものとするためには、実態に沿った人口の見直しをすることが重要になり、本町として取り組むべき課題を明確にし、ターゲットに即した対策を講じることが必要となってくると考えられます。そのため、人口ビジョンの見直しを行いました。

池田町の将来人口について、令和 42 年（2060 年）に 15,777 人（社人研推計値）を維持できるように人口減少幅の低減を目指します。現在（2013 年～2017 年）の合計特殊出生率は 1.32 であり、これを令和 12 年（2030 年）までに 1.53

まで上げ、出生数を上げるために、令和 12 年（2030 年）までに、婚姻率の増加を目指します。

池田町の目指すべき将来の方向性として

- ①まちづくり拠点を中心としながら、町内の活動団体や様々な分野の人材発掘を行い、支援を行うことで、新たな人の流れを生み関係人口を増やす。
- ②町内資源の活用・PR を通じて、交流・関係人口（ファン）を増やす。
- ③移住者向けの情報発信及び移住推進施策を行い、町外からの移住者を支援する。
- ④中高生に対して地元企業と連携した体験・キャリア教育を実施し、地元での就職を促す。
- ⑤多世代交流や、古くからの住民と転入者との交流の機会の創出を通じて、池田町への愛着心を高める。

これらの方向性を元に施策・プロジェクトを実施し、KPI 達成を目指すことで、人口減少、少子高齢化にストップをかけ、子や孫の時代にも活気ある池田町の実現を目指します。社人研の推計に準拠した池田町人口の見通しを第 2 期総合戦略の施策を立案する上での基礎として位置づけ、第 2 期総合戦略における各種施策を推進することで将来の人口減少幅を低減することを目指します。